



● 農業従事者の減少に対応するために、農業担い手の確保と育成が急務。

将来の担い手として 地域定住が欠かせない



問… 農業従事者の減少に歯止めがかからず、本県の農業・農村が危機的状況になると懸念されます。

答… (知事) 県においては、就農から定着までの一貫



したサポート体制を構築、支援を行っています。今年度は加えて「かがわニューフアーマー塾」や「アグリレディ経営能力向上セミナー」などの開催でサポート体制を充実させました。来年度からは、新たに農業大学校内に「かがわ農業MBA塾」を開校し、担い手の経営感覚の向上を図ることにしています。

問… 高度成長期以降に建設された公共土木施設の老朽化が、今後急速に進行することが見込まれます。

答… (知事) 厳しい財政状況ではありますが、道路をはじめとする公共土木施設の維持修繕に要する予算の確保に努め、県民の皆様の安心・安全の確保に努めた

● 計画的メンテナンスで長期的なコストの縮減を図って行く。

公共土木施設の 長寿命化対策



自転車の安全 利用対策



県政モニター調査の結果を見ると、自転車運転者の運転マナーについて、「悪い」「非常に悪い」が6割を超えている。昨年は自転車の関係する交通事故が1,034件発生し、人口当たりの自転車事故の発生件数は全国ワースト上位が10年以上続いています。

自転車の事故抑止は 交通安全対策の 重要な課題

自転車条例制定に向けた提言書

- 自転車条例制定は交通安全に関する課題解決に有効。
- 自転車マナーの遵守や点検整備の徹底。
- 損害賠償責任保険の加入義務化。



検討が進め
られます！

